



美山中学校だより



次のステージに向けて全力で

1月末には警報が発表されて少しまとまった雪に見舞われたものの、早朝には警報が解除され、休校を免れました。地域によっては、30センチを超える積雪がありましたが、子どもたちは少し到着が遅れただけで、通常通りの授業を行うことができました。夜中から除雪にあたっていた方々や、厳しい条件の中でバスを運行していただいた方々の強く熱い思いを感じ、子どもたちとともに感動致しました。いつもありがとうございます。立春の声を聞いてもまだ油断できない状況ですが、日が長くなり春が近づいてきていることを実感します。日頃は、本校の教育活動に格別のご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。



3年生土曜学習

さて、3学期を始業して早1ヶ月、学校では慌ただしく流れる時間の中でまとめの時期を迎え、各学年に応じて次のステージの準備を進めています。3年生はいよいよ入試本番を目前にして、緊張感をもって日々を過ごしています。管内各校で感染症による学級閉鎖も見られる状況の中、健康管理に留意してこれまでの努力の成果を存分に発揮できることを祈るばかりです。卒業式まで1ヶ月、全員がやりきった悔いのない笑顔でその日を迎えてほしいものです。また、1・2年生は、3年生を送り出す様々な準備を通して、次年度の美山中を担う意識と力を高めることに期待しています。

新体制で生徒総会

2月1日(木)、昨年末で改選された新役員体制による生徒総会が行われました。生徒会本部、各執行部から活動方針・活動計画が提案されました。提案の内容については、事前に各クラスにおいて確認する時間を取り、クラスでとりまとめて当日の提案に対して質問や意見が出されました。議事は議長が進め、提案は会長及び各執行部長からありました。今後の活動を進めていく上で、確認すべきことが質問され、全体で共有するよい機会になりました。



また、この場で新スローガン「相照」が提案されました。この言葉は、「お互いに、照らし合う・影響し合う。」という意味を持ち、他学年との交流を通して、全校生徒で高め合っていきたいという思いが込められています。その思いの下、日々あいさつ運動も展開されています。

世代を超えて「学び」を考える熟議(ワークショップ)を実施しました

1月20日(土)は、授業日として保護者や地域の皆様に来校いただき、授業参観やアンビシャスタイム講演会、標題の熟議(ワークショップ)を実施しました。



2校時は恒例となった アンビシャスタイム「高校生に聞く」を開催し、卒業生で5名の現役高校生から、これまでの高校生活を経て高校生活でのがんばり、充実ぶりや努力してきたこと等、そして今中学生としてやるべきことや心がけ等について語ってくれました。中学生にとっては、身近な先輩から将来の進路をイメージしたり、今の生活を考えたりするいい機会となったとともに、有意義な高校生活の様子にも触れて展望を持つこともできたようです。

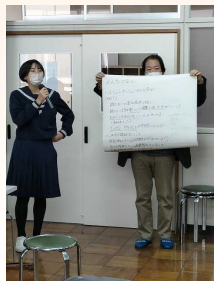


3校時は、学校運営協議会で企画した中学校で初めてとなる 熟議(ワークショップ)を実施しました。今回は、中学生の実態を踏まえ「なぜ学ぶのか」をテーマに設定し、大人も子どもと一緒に考える機会としました。参加者は、2年生・高校生・保護者・協議会委員・教職員で総勢約60人が7～8名の7グループに分かれて、「学び」について交流しました。中学生はもちろ



ん、大人も少し緊張してスタートしましたが、みんなが今の学びや経験を気軽に話し、和やかに交流が進みました。高校生の存在も大きかったと思います。進行役は委員の皆さんにお願いし、事前に打ち合わせをお世話になって当日を迎えました。時間はあっという間に過ぎ、話した内容の中から印象に残ったことを中学生が発表して全体交流を行いました。コミュニケーションや体験を通した学びの大切さなど、どの世代にも響く内容が発表され、有意義な時間が過ごされました。

*生徒の感想より



今日の熟議ではいろいろな世代の方とお話ができて楽しかったし、その人の学びについても詳しく聞けました。自分に意見が回ってくると少し緊張してあまり大きな声でしゃべれなかったけれど、それを大人の人たちがカバーしてくれたりしてしゃべりやすかったです。僕たちでは人との関わりが一番大切だと思ったので、これから人との関わりを増やしていきたいです。



今後の予定

2月10・11日	私立高校入試	3月7日	公立中期選抜
2月15・16日	公立前期選抜	3月8日	アンビシャスタイム、3年生を送る会
2月26～28日	学年末テスト	3月12日	卒業式